

SSRI

Give me a break !

ちょっと一言

米朝首脳会談中止決定、日本政府の立場は

矢野義昭

今回の米朝首脳会談中止決定でも、日本政府の立場は変わりません。

一喜一憂することなく、核・ミサイルと拉致問題の解決を一体として追求する、北が CVID*に応ずることを具体的行動で示さない限り、圧力を緩和せず最大限にかけ続けるというものです。

その点でトランプ政権と一致しています。今回のトランプ大統領の会談中止の判断にも同意していますし、今後も支援するでしょう。それは日本として正しい判断だと思います。

ただし、私は、トランプ政権は北に CVID を強要することは現実にはできず、核化した北にどう対応するかが問われていると見ています。

他方で北も全面的な従中は望んでいないので、北の核は対中抑止として米国にとっても利用価値はあるのです。CVID は必ずしも米国にとり望ましいことではないのです。

だから、米朝には利害の共通性があり、妥結の余地はあるのです。それを北は対米牽制のために中国に接近し米国を裏切ろうとした、それは話が違くと、トランプ大統領は会談中止を決断したのだらうと思います。だから、会談はいずれ再開されます。

日本は影の最大のプレーヤーです。

なぜなら、北の経済再建のための経済支援もでき中国の半島と台湾に対する進出を阻止できる軍事力と地政学的位置を占める唯一の国家だからです。

日本は自信を持って国力の充実に努めるべきですし、共産党独裁の中国を封じ込めるに足る、国力増強は可能です。

***CVID: Complete, Verifiable, and Irreversible Dismantlement**

完全かつ検証可能で不可逆的な（核）解体

(2018 年 5 月 26 日)